

STAND UP TAKE ACTION 2014

背景と想い

●MDGs の軌跡と進捗●

MDGs はこれまで多くの人々に、食料、住まい、教育、医療、権利、尊厳、自信などを与え、貧困をはじめとするさまざまな問題の解決を後押ししてきました。それは、支援を通じて世界が一丸となって貧困問題解決に取り組むという流れを作り、新たな協働の機会と可能性も生み出しました。政府も市民も企業も、途上国も先進国も新興国も、世界中が一緒になってひとつの方向を向いて行動を起こし、結果を残してきました。もし MDGs という目標が作られなければ、それはなしえなかった結果です。

MDGs は、極度の貧困にあえぐ人々の数を半減させ、途上国で小学校に通う子どもたちの割合を 90% 以上にし、23 億人以上により安全な水源を確保し、妊産婦死亡率を 45% 減少させ、HIV の新規感染者数も 44% 減少させました。しかし、これらの結果も国や地域によって達成度は大きく異なり、MDGs のすべての目標を期限までに達成することは、現在ほぼ不可能と見られています。

MDGs は人々に改善という結果をもたらしましたが、まだまだ多くの人々が非常に困窮した生活を送り、世界の政治経済システムが抱える問題がますます顕著になっています。例えば 8 億 4200 万人が飢えに苦しみ、24 億人が 1 日 2 ドル未満で生活している一方で、日本を含む先進国では食料廃棄が問題となり、世界の最富裕層 85 人の資産額が最貧層 35 億人（世界人口の半分）の資産額と同程度になっているという現実もあります。また近年は気候変動による自然災害や農作物への影響などが世界中で起こっていますが、その打撃を最も受けやすいのは、備えができない、あるいは十分でない貧困国、貧困層なのです。このような新たな世界の問題は、MDGs の達成やその取り組みだけでカバーできるものではありません。

そしてポスト MDGs の時代には、これまでの途上国と先進国といった二分法で考えるだけでなく、グローバルな課題として国や地域を横断した形で、また国際的な状況と国内状況を結びつけて物事を見つめ、国際協力 NGO と国内で活動する NPO が一緒になってアイデアを出し合い、仕組みや対策を考えていく必要があります。

●より良いポスト MDGs 策定への働きかけ●

ここ数年、MDGs を引き継いで 2016 年以降の開発目標となる「ポスト 2015 年開発目標（ポスト MDGs）」の検討が国際的に行われてきました。その検討がいよいよ今年、ひとつの区切りを迎えようとしています。2011 年から国際的にその検討と議論が行われてきたポスト MDGs に加え、この夏には昨年からの政府代表者らが話し合ってきた「持続可能な開発（SDGs）」に関する報告書が国連に提出される予定になっています。そしてこのポスト MDGs と SDGs の報告を受け、MDGs を引き継ぐ国際目標の内容を最終決定する国家間の協議・交渉プロセスが本格化し、2015 年夏には合意される予定です。

今後、MDGs からポスト MDGs へと国際目標が変わっていきますが、その最重要課題である「貧困問題の解決」という目的は変わりません。ポスト MDGs の内容に関してはまだ交渉と調整が続いていますが、そこには政府の考えや都合だけでなく、問題を抱える当事者を含む市民社会からも意見を集めてそれがきちんと反映される必要があります。現在日本では、「動く→動かす」が事務局となって「ポスト 2015 に関する NGO・外務省意見交換会」が定期的に行われており、働きかけを継続しています。

●終わりは始まり●

8月19日、MDGsの達成期限まで500日を迎えます。今年は、短い残り時間と厳しい達成見込みの中でスタンド・アップを行うこととなりますが、今を生きる世代として、その努力を怠ることはできません。貧困解決を次の世代へ先送りすることのないよう、今できること、すなわち引き続き MDGs の達成を目指して行動し、より良いポスト MDGs の策定を求めて声を上げていくことが、私たちの世代の責任です。

MDGs を一歩でも前に進め、貧困問題をわずかでも軽減し、少しでも良いポスト MDGs にバトンを渡し、社会を次の世代に引き継いでいくことが、私たちに求められています。スタンド・アップの終了は終わりではありません。ポスト MDGs につなげていくための始まりなのです。

スタンド・アップ 2014 メッセージ

- (1) MDGs 達成を目指して残された時間を無駄なく使い、効果的な事業実施を加速するよう求め政府に声を上げよう！
- (2) 今後の世界を方向付ける次期開発目標であるポスト MDGs が、より良い世界を真に実現するものになるよう求め政府に声を上げよう！
- (3) MDGs からポスト MDGs に問題解決が引き継がれる中、問題解決の先送りにならないよう次の世代の負担を今できる限り減らし、貧困の固定化や連鎖を防ぐ次期開発目標が策定されるよう政府から市民までそれぞれが取り組んでいこう！

